



がっこうきゅうしょく はじ 学校給食 はいつ始まったの

1889年に貧しい児童に給食をあたえた

日本で最初の学校給食は、1889(明治22)年に、山形県の鶴岡町で、貧しい児童に学校で給食をあたえたのが始まりです。

その後、1932(昭和7)年になって、勉強をしっかりとやることや、体位をよくすることなどを目的として、文部省訓令(学校給食臨時施設方法)という法律ができ、政府が学校給食にのりだしました。

せかい きゅうしょくじじょう 世界の給食事情

世界で最初に給食が行われたのは、1796年にドイツのミュンヘンで、貴族だった人が、その地域の食堂に貧しい児童たちを集めて、食事をさせたことです。法律を定めて学校給食を始めたのは、1900年のオランダが最初です。最初の学校給食法というのは、貧しい子どもたちを助けるというのが目的です。オランダで法律ができてから、デンマーク、フィンランド、オーストリア、ベルギーなどの国々がこれに続きました。

がっこうきょういっかつどう きゅうしょく 学校教育活動の一つとしての給食へ

第二次世界大戦をさかいとして、学校給食は貧しい児童を救うことから、学校教育活動の一つとして行われるようになりました。

1954(昭和29)年から始まった「学校給食法」の目的には、食事についての正しい理解とよい習慣をつくる、学校生活を豊かにし、明るい社交性をやしなう、食生活を合理的にし、栄養をとり、健康をはかる、食りょうの生産・配分・消費について、正しい理解をもつ、などがあげられています。(監修・田代 脩)

